

第4弾
フェンシング!



北京オリンピックで銀メダルを獲得、
島根県でも平成23年度インターハイで
安来高校が団体優勝したフェンシング競技に
今回はスポットを当ててみました!

フェンシングはヨーロッパ中世の騎士道で「身を守る」・「名誉を守る」
ことを目的として磨かれ発達した剣技で、片手で持った剣で相手の有効面を突いたり
切ることを競う競技です。

フルーレ・エペ・サーブル と3種目あり、有効面と攻撃方法がそれぞれ違います。

各種目の説明をする前に、テレビ観戦で気になったことがありますか?
なんで剣をついたら”ランプ” ついちゃいます? って。
そうなんです、ユニフォームに電気はいっちゃってます。もちろん剣先にもです。
触れると”ピッ” と”ランプ” ひかります。



剣先に繋がっ
ているコード

ベストに繋がっ
ているコード

フルーレ用の
ベスト
センサーが
入っているの
で暑いらしい。



ユニフォームの下
から剣用のコード
がでてきます。

それでは各種目についてご紹介します。

<フルーレ>

インターハイの団体戦といえば・・・フルーレ!

黄色のところを突けば
ポイントになります。
それ以外は×

後ろもOKだよ。
全国選抜ではエペ・サーブルも団体戦が
あります。

黄色のところ
のみOK



種目によって剣の種類も違います。



試合では”攻撃権”があり、一方的に片方の選手が突いた時はその選手のポイントになるが、両者有効面が突いた時には、”攻撃権”を持っている選手のポイントとなります。なお、”攻撃権”は先に攻撃を仕掛けた方に与えられ、防御側は相手の攻撃を阻止し、”攻撃権”を奪うことができます。



*同時に突いた場合は”攻撃権”のある黄色の選手のポイントになります。

おもしろいポイント！

剣が当たった瞬間から **攻撃 → 防御 → 反撃 → 再度攻撃** と **瞬時の技の応酬**になります！！

中央にいる審判は攻撃権がどちらにあるのか瞬時に判断しています。
*早すぎてときどき???になります。

団体戦は1チーム5名編成で3名による総当たり戦で、5勝先取りで勝利です。

<サーブル>

有効面は上半身すべてです。

サーブルは”突き”と”斬る”がポイントになるので 剣先にはセンサーがなく、有効面に触れただけでポイントになります。有効面は上半身のみとなります。

フルーレと同じで”攻撃権”のある種目です。



剣先にはボタンなし

<エペ>



有効面は全身。

エペは”攻撃権”はなく、先に突けばポイントになります。

エペの剣

”お椀”みたいなガードがついているのが特徴で有効面が全身のため 手首をガードするためのようです。なんとなくフェンシングのイメージですよね。

剣先にボタン

硬直な剣

圧力750g以上の突きでポイントになります。
3種目の中で一番強い一撃が必要です！
(フルレ・サーブルは500以上)

エペのグリップはフレンチスタイルで（木の棒のようなタイプ）力強く握れないが、グリップが長い分リーチを長くすることができます。

リーチが長いほうが有利なんです。

ちなみにフルレのグリップは”ベルギアンスタイル”（ピストル型）が多く、しっかりと剣を握れ、力強く振ることができます。

さて、普段の練習はどんなことをしているのでしょうか。フェンシング部のある安来高校と松江工業高校へお邪魔させていただきました。

<安来高校>



新入生が加入し、上級生が基本的な姿勢・動作の練習を繰り返し教えていました。



続けて 試合形式で練習です。

<松江工業高校>



下半身・瞬発力を鍛えるウォーミングアップを行い、基本的動作の反復練習となります。



大会のようすです。



フェンシング競技を見るときには ただ剣を早く突いているだけではなく、種目の特性を考えながら観戦すると もっとおもしろくなると思いますよ！

今回の取材でご協力いただきました安来高校・松江工業高校のみなさん。ありがとうございました。

また島根から日本一を目指しましょう！

平成23年度
インターハイ団体

